

鳥取市 100 円循環バス「くる梨」路線再編計画（案）の意見募集の結果

意見募集の実施概要

	内 容 等
意見の募集期間	・平成 24 年 8 月 10 日（金）～平成 24 年 9 月 10 日（月）
意見の提出方法	・郵送、FAX、電子メール（宛先：鳥取市都市整備部交通政策室） ・持参（場所：鳥取市都市整備部交通政策室、駅南庁舎市民総合、各総合支所）
計画書（案）の 配布方法	・鳥取市ホームページからダウンロード ・以下の場所での配布 都市整備部交通政策室（市役所本庁舎 2 階）、市役所本庁舎 1 階 総合案内所 市役所駅南庁舎 1 階 総合案内、各総合支所
広報の取り組み	・報道機関への資料提供 ・鳥取市 HP（8 月 10 日～9 月 10 日） ・鳥取駅地下道への掲載、バスターミナルへの掲載 ・「くる梨」車内への掲載（4 台） ・中心市街地活性化協議会への資料提供
意見提出件数	・10 件 （提出方法：電子メール 6 件、来庁 2 件、郵便 1 件、電話 1 件）

- ・路線再編計画に賛成 4 件
- ・青コースのルート変更 2 件
- ・赤コースのルート変更 2 件
- ・車両ラッピング等への提案 1 件
- ・その他 1 件

1) 全体的な感想

提出いただいた意見の概要	意見に対する市の考え方	意見の扱い
<p>・緻密な「くる梨」ネットワークが形成され、大変便利になると思います。是非とも実現していただきたいと考えます</p>	<p>⇒今後においては、運行内容の周知を図るとともに、多くの市民の皆様「くる梨」を利用していただくよう広報・利用促進策の推進に取り組んでまいります。</p>	<p>・計画を着実にすすめていきたいと考えます。</p>
<p>・循環バス「くる梨」の緑コースについて、早急に導入実施すべきである。</p> <p>1) 中心市街地活性化の視点での必要性 2) 県外来街者等の視点での必要性 3) 高齢者福祉の視点での必要性 4) 利用可能性が見込める通勤通学者の視点での必要性</p>		
<p>・以前から、智頭街道などを通過する1000円バスがあればよいと思っていました。</p>		

2) ルートについて

提出いただいた意見の概要	意見に対する市の考え方	意見の扱い
青コース		
(1) 相生町4丁目までの運行	⇒国道53号線を運行する路線バスと競合するため実施は困難と考えます。	対応は難しいと考えます。
(2) 県立博物館、仁風閣、武道館への運行	⇒県立博物館等への運行は、緑コースが行うため重複するものと考えます。	対応は難しいと考えます。
赤コース		
(1) 高砂屋前の運行（聖神社と同様に40分に1本でもよい）	⇒大榎町バス停、江崎町バス停の利用地域との調整が必要と考えます。	今後取り組む中で参考とします。
(2) 西品治までの運行（西品治交差点を左折して富桑小を通過して梶川通りに合流）	⇒「くる梨」運行は、1周35分を基本としています。西品治まで運行すると1周35分での運行が難しくなるため困難です。	対応は難しいと考えます。
(3) P8の運行ルートの考え方で、青コースも利用者数が増えているのに、赤コースは利用者が増えておりコース変更はしないではなく、「運行経路に余裕があり、ほぼ定時運行が確保できている」がよいのではないか。	⇒「運行経路に余裕があり、ほぼ定時運行が確保できている」に修正しました。	計画に盛り込んでいます。

3) 利用促進等について

提出いただいた意見の概要	意見に対する市の考え方	意見の扱い
<ul style="list-style-type: none"> ・商店街等の販促ツールとして乗車券の無料配布 ・商店街で一定の金額の買物をしたお客には「割引乗車券」を渡すような仕組みを構築してはどうか。 	⇒商店街との連携は、緑コースを運行するうえで重要と考えます。	今後取り組む中で参考とします。
<ul style="list-style-type: none"> ・バス停名は地区名＋施設名を多用しわかりやすくする。 	⇒バス停名については、事業者等と協議のうえわかりやすい表記にしたいと考えています。	今後取り組む中で参考とします。
<ul style="list-style-type: none"> ・バス停の距離は、80～160m以内と極力短くする。 	⇒「くる梨」のバス停間隔は、基本約200mとなっており、80～160m以内は困難と考えます。	対応は難しいと考えます。
<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場施設との連携により「くる梨」乗り放題プランの新設 	⇒新規利用者が見込めることから、参考とさせていただきます。	今後取り組む中で参考とします。
<ul style="list-style-type: none"> ・主要バス停に電動レンタサイクルの発着点を設け、連動利用の検討 	⇒参考とさせていただきます。	今後取り組む中で参考とします。
<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通連携により利便性向上策検討例) <ul style="list-style-type: none"> ・JR特急のはくといなばとの時刻連動、空港シャトルバスとの連動 ・路線バス・タクシーとの連動による市内1日乗り放題チケット販売 ・上記プレミアムチケットを列車、飛行機内での販売 	⇒参考とさせていただきます。	今後取り組む中で参考とします。
<ul style="list-style-type: none"> ・くる梨3コース内を100円で1回だけは、無料で乗換自由な制度を検討 	⇒1日乗車券(300円)があり3コースが全て乗り放題となります。1日乗車券の周知を行いたいと考えます。	対応は難しいと考えます。
<ul style="list-style-type: none"> ・緑コースを含め新ダイヤの周知を最低でも1ヶ月前にはしてほしい。 	⇒新ダイヤの周知を早く行うことは、利用促進においても効果的と考えます。	今後取り組む中で参考とします。
<ul style="list-style-type: none"> ・現在の青コース一部が、緑コースになることから、観光客等が今までの青コースと間違わないようにコース名を変える。難しければ誤って乗るのを防ぐための案内を徹底する必要がある。 	⇒新ダイヤ、ルートを広く周知を行い、誤って乗車することのないようにしたいと考えます。	今後取り組む中で参考とします。
<ul style="list-style-type: none"> ・緑コースの運行する若桜街道では、「木のまつり」や「しゃんしゃんウィーク」など、年に何回か歩行者天国にして大規模なイベントが開催されています。この 	⇒一部区間でのイベント時は、できるかぎり運休するのではルート変更を行い運行を考えています。	今後取り組む中で参考とします。

<p>ようなイベント開催時には「緑コース」は運休するのではなく、ルートを変更して運行するようにしてほしい。</p>		
<p>・路線バス市内回り便の削減をするなら、路線バスからくる梨への乗継する場合に割引をしてはどうか。割引することにより郊外から中心市街地に出かけやすくなるとともに、公共交通の利用促進にもつながる。</p>	<p>⇒利用促進策の検討にあたり、参考とさせていただきます。</p>	<p>今後取り組む中で参考とします。</p>

4) バスラッピングについて

提出いただいた意見の概要	意見に対する市の考え方	意見の扱い
<p>・緑コース車両にガイナラッピングをしてはどうか。</p>	<p>⇒参考とさせていただきます。</p>	<p>今後取り組む中で参考とします。</p>

5) 運行委託事業者について

提出いただいた意見の概要	意見に対する市の考え方	意見の扱い
<p>・現在、「くる梨」の運行は、路線バス事業者の大手2社が運行していますが、緑コースの運行を新規事業者にすることにより県内バス業界が活性化していくと考えます</p>	<p>⇒くる梨の運行は、道路運送法上4条許可が必要です。また、「くる梨」車両と同系統の予備車が必要になります。 この、条件をクリアできる事業者は、鳥取市内には2社しかありません。</p>	<p>対応は難しいと考えます。</p>

6) 乗り継ぎ拠点について

提出いただいた意見の概要	意見に対する市の考え方	意見の扱い
<p>・鳥取市役所本庁舎が「くる梨」の乗継拠点と記載していますが、本庁舎敷地内に待合所やバス停の整備を実施してターミナル化し快適にバスを待てる環境を整えていただきたい。</p>	<p>⇒参考とさせていただきます。</p>	<p>今後取り組む中で参考とします。</p>